

【CTINとは】デザイン・フェスタ（毎年2回東京ビッグサイトで開催）やデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿などでの鉄道写真・花火写真展示、ライブ写真の撮影及びアーティストさんへの提供などで活動する個人ユニットです。

【主な活動範囲】埼玉県・秩父鉄道沿線及び宮城県を中心とした南東北。但し、機会に応じて日本全国どこでも行きます。花火は関東北部・南東北を中心に年十数大会。ライブはアコースティック系が多いですが特に限定していません。

【今号の見どころ】

- （1面）3月17日 仙石線・石巻線一部再開
- （2面）CTIN Artist Selection やもとなおこ
- （3面）【報告】furani オーケストララライブ
- （4面）Design Festa Vol.35 開催迫る

祝再開 石巻線・石巻～渡波間 / 仙石線・陸前小野～矢本間

東日本大震災の影響で不通となっている JR 石巻線・仙石線の一部区間のうち、石巻線石巻～渡波間と、仙石線陸前小野～矢本間が3月17日より運転を再開しました。石巻線はバス代行区間が渡波～女川間となりました。仙石線は陸前小野～矢本間は1日4往復の運転でいずれも石巻までの直通、石巻方面のその他の列車は従来通り矢本での折り返し運転であり、代行バス運転区間は松島海岸～矢本間のまま変更されていません。（本面写真はすべて2012.-3.17撮影）



▲石巻～陸前稲井間で旧北上川を渡る石巻線渡波行、キハ48



◀渡波駅で折り返し待ちの石巻線
小牛田行、キハ48
当面は1番線のみ使用となる。
2013年度初めに浦宿まで再開
の予定だが、女川までの再開は
未定。

▶渡波駅舎。再開前は、津波で被災した渡波交番の仮の建物として利用されていた。
女川までの代行バスは写真撮影位置の背中に相当する辺りの道路上から発着する。



◀陸前小野駅舎。津波で被災したため新たに建て替えられ、この日から使用を開始した。以前同様、中の売店が委託きっぷうりばを兼ねている。

▶陸前小野駅で発車待ちの仙石線石巻行、キハ110。
従来のホームを仙台方に延長する形で仮設のホームが作られ、1面1線で折り返す形となっている。



▲鹿妻～矢本間を走る仙石線陸前小野行、キハ110

【制作・配布で協力店舗】

牛たん 炭焼 利久 東七番丁店

仙台駅東口から徒歩3分
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-3-22
Tel/Fax : 022-296-3577
<http://www.rikyu-gyutan.co.jp/> (オンラインショップ)
<http://www.gnavi.co.jp/rikyu/> (店舗紹介:ぐるなび)



※ 関東地方にも5店舗あります。（イオンレイクタウン店・池袋店・赤坂店・アトレ吉祥寺店・仙臺たんや利久 東京駅店）

CTIN でライブ撮影を行っている、
おすすめのアーティストさんを紹介します。

主な出演会場：四谷天窓、四谷天窓 .comfort, 代官山 NOMAD、
川崎バスカー（フリーライブ）、他神奈川県中心にイベント出演多数
公式サイト <http://yamonao.com/>



小さい体でパワフルにギターを弾き語る、やもとなおこさん。個人的には、2010年まで活動していたバンド「Yamoshim」時代を含めると5年近く、弾き語りでは3周年、ずっと見守ってきましたが、本当に成長著しいのです。パワフル過ぎる歌と、ゆる過ぎる MC、是非ライブでお楽しみ頂きたいです。

やもとなおこさんにも「こだわり」について伺ってみました。

Q1. あなたの「人として」の「こだわり」は何ですか？

たぶん、色々あるなかで今浮かんでくるキーワードは「愛」「笑」「納得」「満足」です。

今をいつも一番に生きていきたいので
それには心から笑う事、そして心から人や物事に感謝して
愛を持つ事が大事だなと感じている今日この頃です。

日々を忙しく過ごしていると、つい忘れがちになってしまうのですが
そうした事を大切にしながら生きると
自分に納得できるようにやりたいと、自然と強い意志を持てたり
満足いく事が出来ると、達成感とともにそんな自分に自信も持てたりして
そんな積み重ねをしていけば
自分の毎日が愛おしく生ていけるのではないかなと、最近はその信じております。



2012年3月21日 四谷天窓にて



2012年3月14日
代官山 NOMAD にて

Q2. あなたの「ミュージシャンとして」の「こだわり」は何ですか？

生もの。自分そのもの。
よくも悪くも、私は自分が変わっていったらいいと思っているし
それが面白くもあり、ちょっと怖くもある。
そうした生々しく、生きている何かが、音楽で外に出てったらいい。
そしてそれを人につかみ取ってもらえたり、自分が歳をとっても、昔の自分の「感情」や「生」
を音で発見したりしていきたいと思って今を歌にしたいのだと思う。日記みたいだ。
それがミュージシャンとしていいのか悪いのかはわからないけど（笑）

Q3. 読者の皆様に一言お願いします。

人として、ミュージシャンとして
上で答えた言葉通りに、今の「やもとなおこ」が生まれていく様を、ここに記そうと思い
5月12日に四谷天窓にてワンマンライブをする事にしました。
ここのライブハウスに出逢った事で、自分のライブ活動が始まったようなものなので。
原点に戻るような気持ちと、いつでも現在地が原点だという気持ちを込めて
「やもとなおこワンマンライブ！～やもなお産地～」決行します。80名限定。
裏タイトル!? やもなおさん家へいらっしゃーい！

【CD】「僕らの3万ピース」

2011年10月17日発売、5曲入り 1000円

ライブ会場、やもとなおこ公式サイトで発売

1. 僕らの3万ピース 2. お気に入りのアンブレラ 3. 千日紅
4. 君と見たい空 5. 僕らの3万ピース (Band Version)



2012年3月3日

パーカッション Yoshiさんと
大山とうふまつり（神奈川県伊勢原市）
会場にて

やもとなおこワンマンライブ「やもなお産地」

【会場】 四谷天窓（高田馬場） <http://www.otonami.com/tenmado/>

【日時】 2012年5月12日（土）開場 18:30 開演 19:30 【料金】 2500円 + 1drink

【出演】 やもとなおこ (Vo., Gt.), Yoshi (Per.) 他

【チケット】 やもとなおこライブ会場で販売。限定 80名につきお早め。

予約は yamonao1@gmail.com へお名前と枚数を明記したメールを。

CTIN では、ライブ写真の撮影に際して必ず事前にアーティストさん及びライブ会場、イベント主催者さんの了承を得た上で行っています。会場の後方または側面壁際に構え、フラッシュは使わず、状況に応じてシャッター音の出ないカメラを使用するなど、他のお客様にご迷惑をお掛けしないよう努めています。

次号 Vol.7 はデザフェス記念紙面拡大版につき、第6回、詩-uta-さん、第7回、ツツリ・ツクリさん、2組同時紹介です。



3月20日

furani オーケストラ ラララ♪ライブ レポート

本紙 Vol.4 の Artist Selection でご紹介した、furani さんのオーケストラワンマンライブが3月20日に、杉並区の「座・高円寺2」で盛大に開催されました。250人以上収容の会場は満員御礼。曲は furani さんのライブでおなじみの曲が中心ですが、普段の弾き語りライブとは一味もふた味も違う雰囲気を楽しむことが出来ました。



イントロダクション (Eine kleine Nachtmusik 他) で自ら指揮を執る furani さん



14人編成のオーケストラにより約2時間、アンコール含めて15曲が演奏された。

約2時間、本当に贅沢な時間でした。

去年11月3日のワンマンライブでの発表以来、様々な苦労を重ねて作り上げられたこのオーケストラライブ。

クラシック、というと、自分自身は普段、正直、あまり縁のない演奏スタイルではありますが、ライブでおなじみの曲たちだけでなく、ゲーム音楽までもが furani さんの強いこだわりで生まれ変わり、音を楽しむという意味での「音楽」の、またひとつ新しい形を教えてもらえた気がします。



「家庭科ソング」(NHK E テレ「NHK 高校講座 家庭総合」エンディングテーマ) 曲中、先生のように250人に向かって語りかける furani さん



250人の「はいー」は圧巻

おすすめライブ



大地 穂 ワンマンライブ

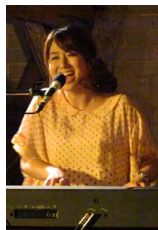
【日時】 4月26日(木) 19時開場、19時30分開演

【場所】 赤坂グラフィティ (地下鉄赤坂見附駅下車徒歩3分)

【料金】 前売り3000円 + 1drink

チケットは赤坂グラフィティまたは居酒屋 Tampopo (北千住) にて販売

よき昭和の雰囲気を感じる大地 穂 (おおち すい) さんの歌声は必聴です。



きしのりこワンマンLIVE「私のわたし vol.5」

【日時】 5月3日(木・祝) 18時開場、19時開演

【場所】 代官山・晴れたら空に豆まいて (東急東横線代官山駅下車徒歩2分)

【料金】 前売り3000円・当日3500円 + 1drink 500円

チケット番号順の入場。お問い合わせは kinokoriko58@yahoo.co.jp まで。

「ありがとうと笑顔をとどけたい」皆を幸せにしてくれるライブになるでしょう。



Design Festa Vol.35 開催迫る



【日時】2013年5月12日(土)・13日(日) 11時～19時 (CTINは今回は両日出展します!!)

【場所】東京ビッグサイト 西ホール全館 (CTINの出展は西1ホール・E-368ブース)

【チケット】前売り券：(1日券) 800円 (両日券) 1500円 当日券：(1日券) 1000円 (両日券) 1800円

デザイン・フェスタ・オフィス、デザイン・フェスタ・ギャラリー (原宿) 他、各プレイガイド・コンビニで販売。
詳細はデザイン・フェスタ公式サイト <http://designfesta.com/> をご覧ください。



今回のCTINの展示は、原点に立ち戻り、電車の「色」にこだわった写真展示を行います。いつものようにポストカード(1枚100円)、A4写真(1枚500円)の販売も行います。他、新たな販売物も登場するかもしれません。いや、きっと登場すると思います。



伊達に旅する写真集

～仙台・宮城へ出かけよう～

発売中!! 1冊800円(うち寄付金300円)

A5判32ページに、仙台・宮城の鉄道・観光写真を凝縮しています。

売り上げのうち、1冊300円分については、宮城県を中心とした被災地支援活動に活用して頂くよう、寄付を行います。(CTIN出展の展示会場、牛たん炭焼 利久 東七番丁店で販売。他は河野までお問い合わせください。)

CTIN 月例展示

4月23日(月)～30日(月) WESTアートピース No.21
場所はデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿。

旬な写真数点の展示と、「伊達に旅する写真集」、ポストカード等の販売を行います。

6月16日(土)・17日(日)「生誕40周年記念祭(仮)」
デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿 WEST1-Bにて開催予定。詳細は次号にてお知らせします。



笑顔咲くたび
伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン

4月1日から6月30日まで開催中 <http://sendaimiyagidc.jp/>

JR6社による大型観光キャンペーン「仙台・宮城ディステーションキャンペーン」が来年4月から6月まで開催されますが、それに先立ち、「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」が開催されています。是非、宮城県に足を運んで頂き、現地の空気を感じて頂き、また、宮城の新たな魅力を発見して頂けると幸いです。



配布ご協力店大募集!!

フリーペーパー「101」は、カフェ、ライブハウス、ギャラリーなどを訪れるお客様に気軽にご覧頂けるフリーペーパーを目指しています。現時点ではこれといった御礼も出来ませんが(せめてお名前だけでも紙面で紹介させて頂きます。)、配布にご協力頂けるお店の方もしくはアーティスト様、何卒、メール、Twitterで、あるいは直接お会いしたときなどお声掛け頂きたく、宜しくお願い致します。

【Vol.5 配布ご協力ありがとうございます。】(順不同) ・牛たん炭焼 利久 東七番丁店様(仙台市) ・ホシカワカフェ様(熊谷市)

・恵比寿天窓 .switch 様(東京都渋谷区) ・銀座 Miiya Cafe 様(東京都中央区) ・赤坂 Graffiti 様(東京都港区)

・代官山 NOMAD 様(東京都渋谷区) ・デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿様(東京都渋谷区) ・木下直子様

【名称「101」の由来】本紙はVol.3までCTIN Pressの名称で発行して参りましたが、皆様により親しみやすい名称を、と考え、Vol.4より名称を「101(いちまるいち)」と改めております。CTINの活動の原点であり、秩父鉄道1000系電車の改造元である国鉄(JR)101系電車が語源です。101系は現在日本を走る通勤電車の基礎を築いた車両であり、シンプルなデザインの中に機能美を持ち合わせています。CTINの活動が常にこの101系または流れを受け継ぐ車両たちの影響下にあること、また、101系の名前は「いの一」の言葉に喩えられますが、常に皆さんの「いの一」でありたい、という願いを込め、この名前を採用しました。引き続きご愛顧のほど、宜しくお願い致します。

お詫びと訂正

前号、CTIN Press Vol.5、2面に掲載した写真の一部において、撮影日付に誤りがありました。

2段目左及び右写真： 誤 2012.-2.25 正 2012.-2.19

2段目中写真： 誤 2012.-2.25 正 2012.-2.18

最下段写真： 誤 2004.-4.26 正 2012.-2.19

謹んでお詫びの上、訂正いたします。申し訳ありませんでした。

あとがき

前号の「あとがき」で「桜の便りをお届けできるでしょうか」と書きましたが、どうやら秩父鉄道沿線においては間に合ってなかったようです。23日からの月例展示では桜の木の横を走る秩父鉄道の電車の写真を展示できるかと思います。

次号は5月12日(土)発行予定。デザイン・フェスタ Vol.35 会場にてお配りします。

東京ビッグサイト・西1ホール・E-368ブースにて、お待ちしております。

